

行 会 ってこーわい ってこーわい

「ルタ・アレクサンドラさん」

日本全国の義民を調べるリトアニアの女性
義農精神は国境を越える

No. 59

リトアニア出身のルタ・アレクサンドラさん。日本に興味があったルタさんは、リトアニアで日本語や聖徳太子などの歴史について学んだ後、日本に留学。現在は、大阪大学の大学院で義民の研究を行っています。その中で、義農作兵衛に興味を持ちましたが、思うように資料が見つからず。実際に松前を訪問することにしました。

松前史談会の皆さんから、義農作兵衛について熱心に教わるルタさん。「今までは本を読んだり、写真を見たりだったけれど、現地に来ると印象的。作兵衛の活動をいろいろ知ることができた」とうれしそうに話します。この日、ルタさんは義農公園をはじめ、史跡(作兵衛終焉の地)など、義農作兵衛の足跡を巡りました。

毎年4月23日に義農作兵衛をしのんで開かれる「義農祭」。その日がちょうど誕生日だというル

タさんは「ぜひ来てみたい」とにっこり。「作兵衛の生まれ変わりじゃないか」と史談会の皆さんも、海外から来たルタさんの姿をうれしそうに見つめていました。

来年の夏までは、大阪で研究を続けるというルタさん。研究を終え、リトアニアに帰るころには「人のために尽くした」義農精神が、ルタさんの心にも伝わっていることでしょう。

㊦義農作兵衛の像の下ではほほ笑むルタさん ㊦松前史談会の皆さんから義農作兵衛について学ぶルタさん



編集後記

娘がつかまり立ちを始めました。最初のころは倒れないように支えていましたが、一人でできるようになると、台を見つけては立ち上がり、「できたよー」といわんばかりの、最高の笑顔を見せてくれます。そんな娘を見ると、つられて笑顔に。「できない」が「できる」になる喜びは、そこに関わった人にも伝染します。町民一人一人の「できない」が、みんなの関わりで「できる」になるといいですね。(松田)

毎日、毎日、暑い日が続いて、ぐったりしてしまいます。そんな私とは違って、さんさんと降り注ぐ太陽の下でも、元気いっぱいにきらきら輝く笑顔を見せてくれる子どもたち。その笑顔を見てみると、元気が出てきます。

まだまだ暑い日が続く8月。それに負けない皆さんの笑顔に出会えるように、カメラを持って出掛けたいと思います。(久保)

Proud! Japan

※日本水産加工物販売会より

広報まさきに有料広告を載せませんか？

広報まさきに掲載する有料広告を募集しています。希望者は、町ホームページをご覧になるかお問い合わせください。

❖広告掲載枠

広報まさきの裏表紙
(下欄3枠、1枠の大きさは縦40ミリ×横60ミリ、フルカラー)

❖配布状況

毎月1日発行。発行部数1万1500部。町内全世帯へ配布

❖広告掲載料

1枠、1月当たり2万円

☎総務課広報情報係 ☎985-4132